

ユーミックス ゼータ

U - MIX Zeta

サーモスタットシリーズ

埋込形サーモ混合栓

K9875

施工・取扱説明書

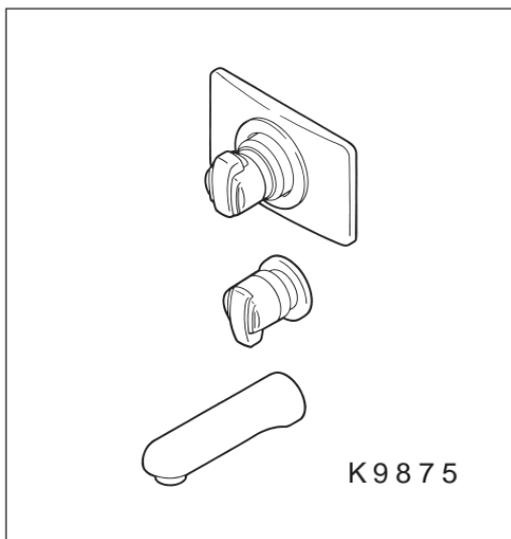
施工、ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ、正しく施工、ご使用ください。

お客様へ

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも読める所に必ず保管してください。

工事店様へ

施工後、この説明書と保証書をお客様へお渡しください。手渡しできない場合は器具に掛けておいてください。


 も
く
じ

各部の名称・寸法図	1	器具の取付け	6 ~ 9	お手入れ	12
安全上のご注意	2 ~ 4	— ご使用について —	—	ストレーナ・吐水口の掃除	12
— 施工について —	—	温度調節方法	10	故障？その前に	13
適切な使用条件	5	使用方法	10	分解図	14
施工上のご注意	6	器具の温度調整方法	11		

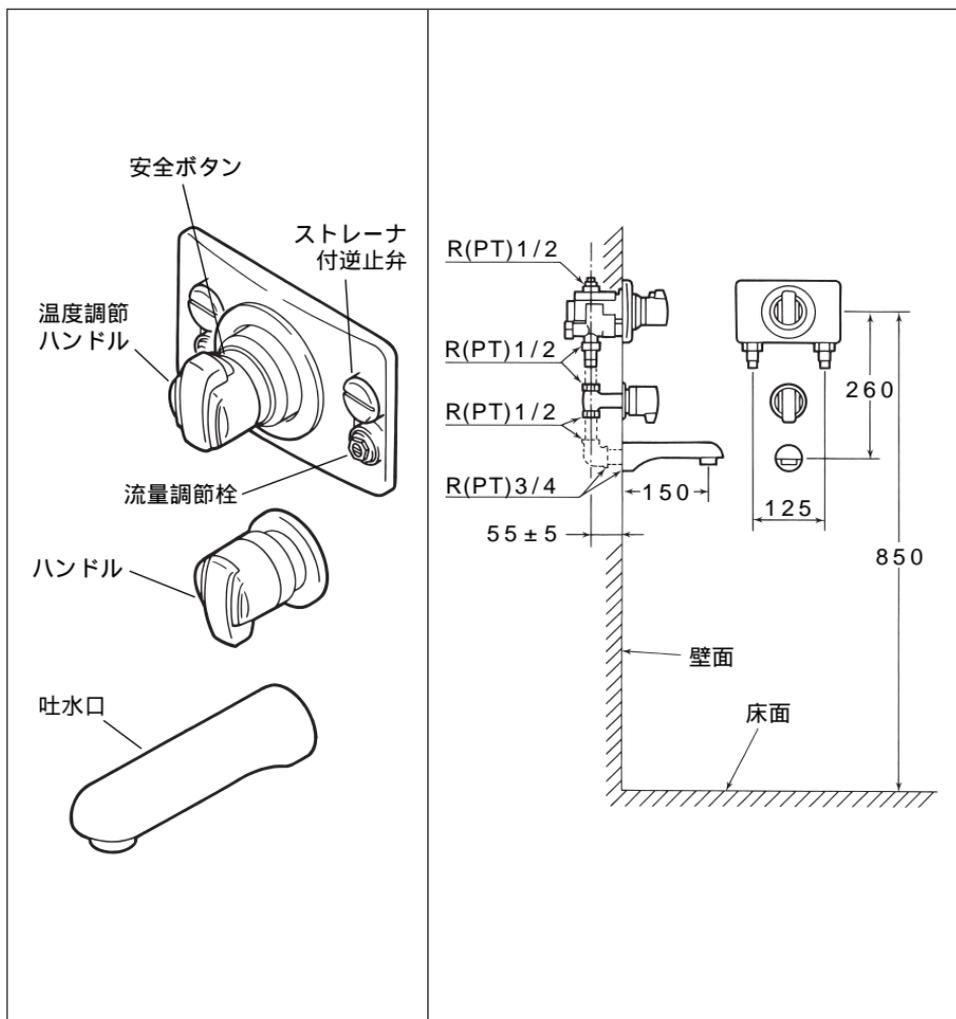
サーモスタット混合栓について

本器具は、サーモスタットの働きで混合水の温度を一定に保つ混合栓です。使用中に給水・給湯圧力が変化しても混合水の温度はほとんど変わりません。温度調節ハンドルで、好みの温度に変えられます。

なお、安全ボタン付ですので、誤って熱湯を出す事はありません。

流量調節栓、ストレーナを設けていますので、掃除、点検が容易に行えます。

各部の名称・寸法図



安全上のご注意

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果（障害・物損）に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

施工完了後、試験運転を行い異常がない事を確認すると共に、工事店様は説明書に沿ってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。

用語および記号の説明

注意



「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じる事が想定されます。」

「注意しなさい！」（上記の「注意」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項を守ってください。）



「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）



「分解してはいけません！」



「指示した場所に触れてはいけません！」



「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）

施工上の注意事項

⚠ 注意



湯水を逆に配管しないでください。
器具が破損して、やけど、漏水のおそれがあります。



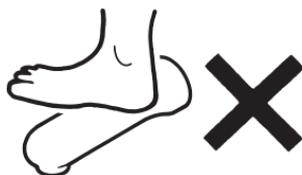
給湯に蒸気を使用しないでください。
器具が破損して、やけど、漏水のおそれがあります。

使用上の注意事項

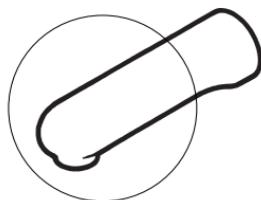
⚠ 注意



器具に乗ったり、よりかかったりして無理な力を加えないでください。
器具が破損し、ケガをしたり、漏水し、家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。



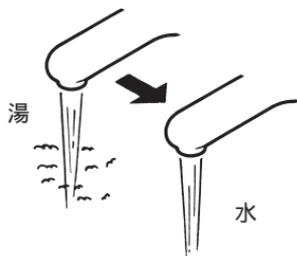
高温の湯をお使いの時には、吐水口は高温になっています。直接肌を触れないでください。
やけどをするおそれがあります。



使用後は必ず温度調節ハンドルの目盛を40以下に戻しておいてください。
次に使用すると、いきなり高温の湯を浴びやけどをするおそれがあります。



高温の湯をお使いの後は、器具内に高温の湯が残らないように、しばらく水を流してください。
次に使用すると、器具内に滞留した高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。



使用上の注意事項

⚠ 注意



温度調節ハンドルの表示で湯温を確かめた後、吐水してください。
高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。



温度調節ハンドルを急にまわすと、温度が急上昇する事がありますのでハンドルはゆっくりまわしてください。
やけどをするおそれがあります。



ハンドル操作の急閉止は、配管からの漏水を起こす事がありますので、ゆっくり操作してください。
漏水で家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



漏水した場合の処置：漏水した場合は元栓、または止水栓を閉めてください。
ポンプをお使いの場合は、ポンプを止めてください。
そして専門の業者に修理を依頼してください。

施工について

適切な使用条件

(1) 貯湯式給湯器・中央給湯式の場合に必要な給水・給湯圧力

条 件	
給水・給湯圧力	0.05MPa { 0.5 kgf/cm ² } ~ 0.59MPa { 6.0 kgf/cm ² }
給水圧力が 0.29MPa { 3.0 kgf/cm ² } 以上は流量調節栓の調整が必要です。	
0.59MPa { 6.0 kgf/cm ² } を超える場合は減圧弁を使用してください。	
給水圧力 給湯圧力にしてください。	
なお、給湯圧力が 0.098MPa { 1.0 kgf/cm ² } 未満の場合は	
給湯圧力 + 0.147MPa { 1.5 kgf/cm ² }	
0.098MPa { 1.0 kgf/cm ² } 以上の場合は	
給湯圧力 + 0.196MPa { 2.0 kgf/cm ² } 以内にしてください。	
給湯温度は使用温度より 10 以上高くしてください。	
ハンドルは全開にしてください。	

(2) ガス瞬間式給湯器の場合の給湯器流入口における最低必要圧力

設定条件

水温：25

ガス瞬間式給湯器の調節ハンドル：高温

吐水温度：42

ハンドルは全開

(P = 給湯器の最低作動水圧 MPa { kgf/cm² })

ガ ス 瞬 間 式 給 湯 器			
従 来 タ イ プ			比 例 制 御 タ イ プ
8 号	10 号	12 号	16 号
P+0.06 { 0.6 }	P+0.08 { 0.8 }	P+0.098 { 1.0 }	P+0.08 { 0.8 }

給水圧力は流動時の水圧を示します。

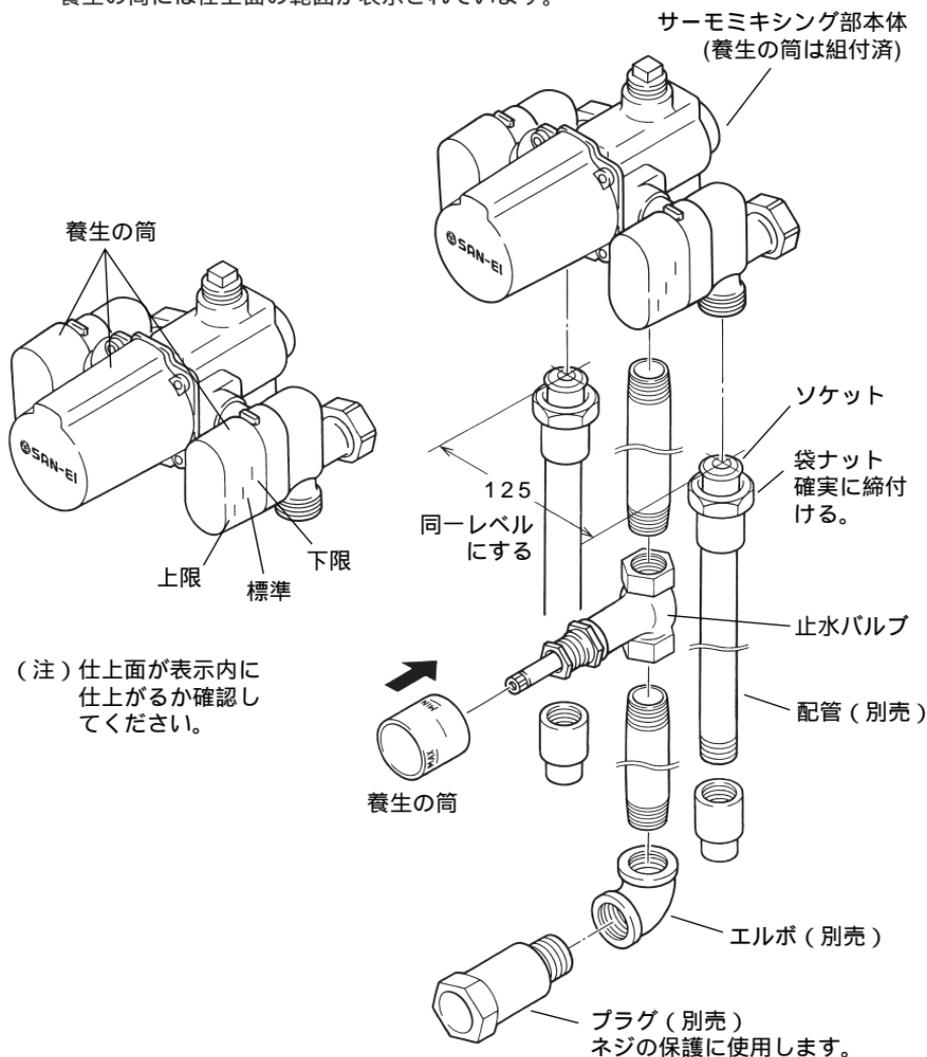
給湯能力 8・10号では、冬季での快適流量が得る事ができませんので、ご注意ください。

配管内の掃除

取付前に必ず通水し、配管内のゴミを洗い流してください。

2 本体の取付け

- (1) ソケット・袋ナットを給水・給湯配管に接続し、本体の養生の筒の  SAN-EI マークを正面へ向け、取付けてください。
- (2) 養生の筒はタイル仕上げが済むまで、かぶせておいてください。
養生の筒には仕上面の範囲が表示されています。



各接合部には配管用シール材を使用してください。

3 点検

埋込配管部分に通水し、各接合部の水もれ点検をしてください。

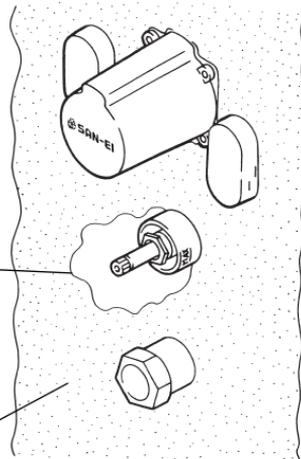
4 混合栓部分の埋込み

ねじ部・スピンドル部をマスキングしてから行ってください。

モルタルなどによる埋込みをしない場合は、各配管にそれぞれ支持金具を用いて、器具が動かないよう十分に固定してください。

マスキング
(ビニールなど)

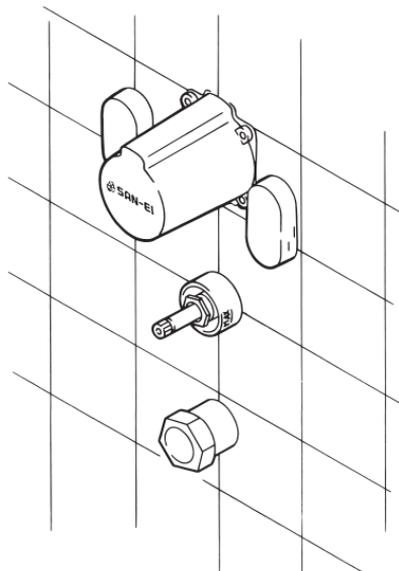
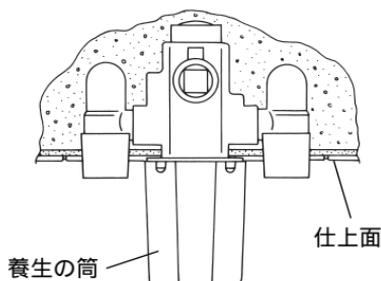
モルタルなど



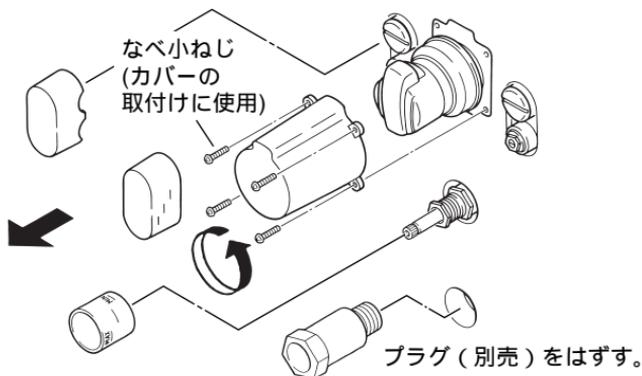
5 タイル仕上げ

養生の筒の表示の仕上範囲内に納まるよう
タイル仕上げを行ってください。

(注) 養生の筒、本体内部にモルタルなどが入り込まないように十分注意してください。

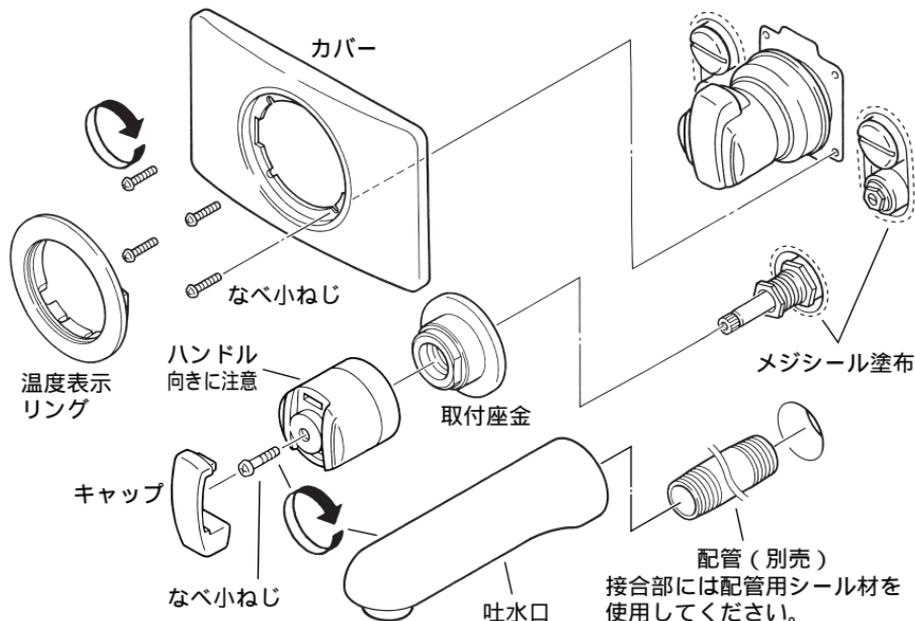


6 養生の筒をはずす



7 ハンドル・吐水口の取付け

タイル目地のくぼみから水が入り込むのを防ぐ、メジシールを塗布してからハンドル・吐水口を取付けてください。
はみ出たメジシールは確実に拭き取ってください。



点検 施工完了後、止水栓を開け通水し、作動および各接合部の水もれ点検をしてください。

(注) 40 でない場合は吐水温度の調整が必要です。(参照：P11 器具の温度調整方法)

ご使用について

温度調節方法

温度調節ハンドルをまわす事によって温度を変えられます。

温度調節

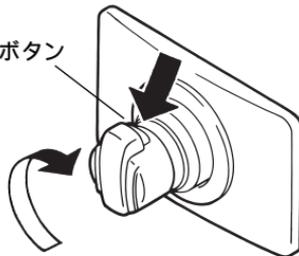
安全ボタンを目盛に合わせて好みの温度で
ご使用ください。数字は目安としてご使用
ください。



高温の使用

40 以上にしたい時は安全ボタンを押し
てまわしてください。

安全ボタン

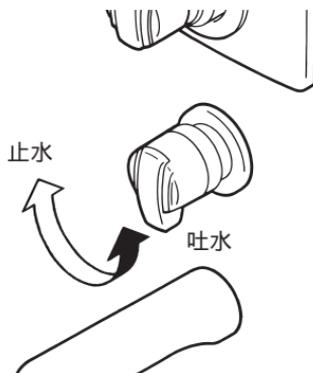


(注) 熱湯を使用した後は必ず、温度調節
ハンドルを 40 以下に戻しておいて
ください。

使用方法

吐水・止水

ハンドルを左へまわすと吐水し、右へまわすと止水します。



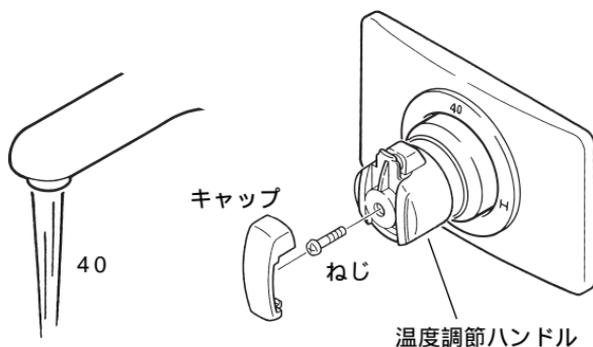
(注) ガス瞬間式給湯器の場合

ハンドルは全開でご使用ください。給湯器が着火しない場合があります。

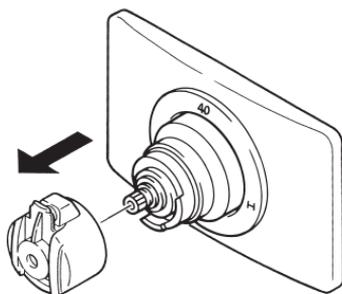
器具の温度調整方法

器具は出荷前に調整済ですが、取付現場の圧力、給湯温度などの条件により目盛と異なる温度の混合水が出る事があります。このような場合は下記の方法を行ってください。

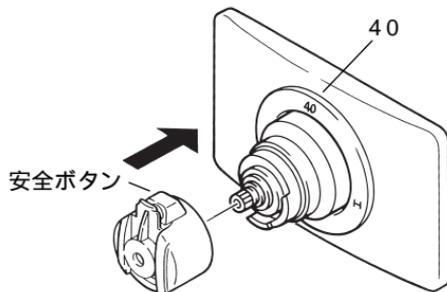
- 1 温度調節ハンドルのキャップ、ねじをはずし、目盛と関係なく吐水温度が 40 になるようにまわしてください。



- 2 吐水温度が 40 になる位置で温度調節ハンドルをはずしてください。



- 3 目盛の 40 の文字と安全ボタンが合うように取付けてください。



(注) 温度調節ハンドルを取付ける時、軸をまわさないようにしてください。
目盛・数字とも目安としてご使用ください。

お手入れ

メッキ部分（金属製部品）

やわらかい布で拭き、時にはミシン油
やカーワックスを適量にしみこませた
布で拭いてください。

樹脂部分（プラスチック製部品）

やわらかい布で水拭きをしてください。

⚠ 注意

次のものは使用しないでください。変色や傷みのおそれがあります。

酸性・アルカリ性および塩素系の洗剤類

特に酸性洗剤はメッキを侵します。

ベンジン・シンナー・ラッカー・アルコール
などの溶剤や油類

クレンザーなどの粒子の粗い洗剤

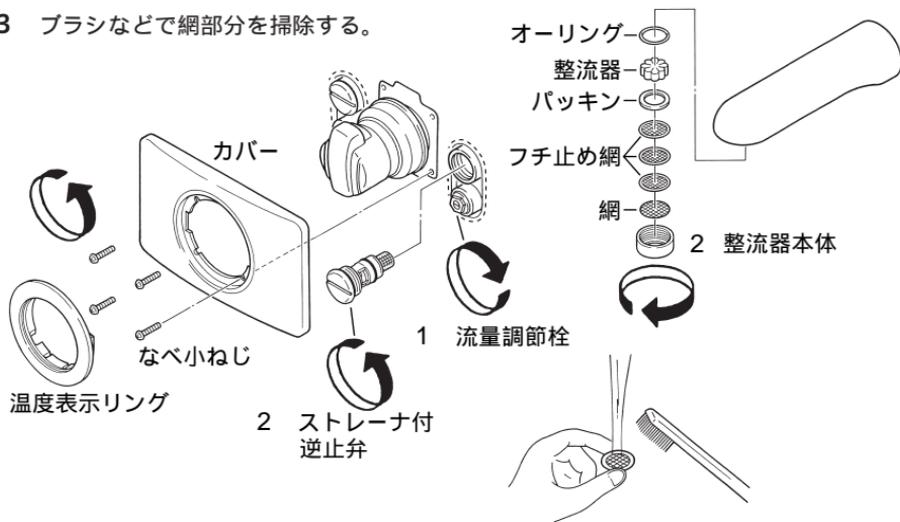
ナイロンたわしなど



ストレーナ・吐水口の掃除

近所で水道工事があったり、長時間使用し湯水の出が悪くなった時にお調べください。

- 1 カバーをはずしてから、流量調節栓を右にまわし、止水する。
- 2 ストレーナ付逆止弁・整流器本体をはずす。
- 3 ブラシなどで網部分を掃除する。



再使用时 ストレーナ付逆止弁・整流器本体がよく閉まっているか確認してから、
通水してください。

故障？ その前に

修理を依頼される前に、下の表に従って点検してください。

現象	点検
吐水量が少ない。	1・2
高温しか出ない。	1・2・3
低温しか出ない。	1・2・3
目盛通りの湯が出ない。	1・2・3

1 流量調節栓は開いているか。

2 ゴミ詰まりは。 参照：ストレーナ・吐水口の掃除

3 温度調整は適当か。 参照：器具の温度調整方法

以上の点検を実施されても、不具合がなくなる場合はお手数ですが販売店（工事店）にご依頼ください。

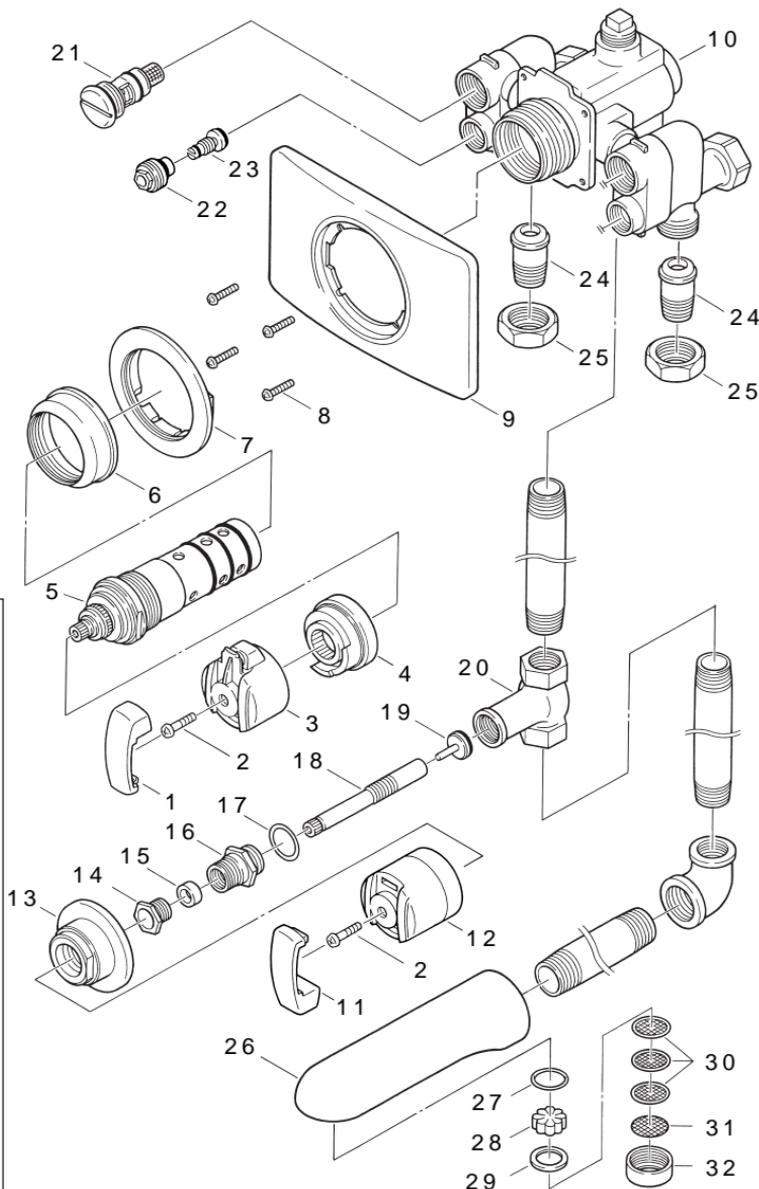
⚠ 注意



サーモカートリッジ内部は精密加工されていますので、絶対に分解しないでください。

分解図

器具の構造を表したイラストです。構造をご理解いただくのにご使用ください。



K9875

1. キャップ
2. なべ小ねじ
3. 温度調節ハンドル
4. ポイントガイド
5. サーモカートリッジ
6. メッキリング
7. 温度表示リング
8. なべ小ねじ
9. カバー
10. 胴
11. キャップ
12. ハンドル
13. 取付座金
14. グラン
15. パッキン
16. パッキンカバー
17. パッキン
18. 栓棒
19. ケレップ
20. 胴
21. ストレーナ付逆止弁
22. 逆止本体
23. 固定スピンドル
24. ソケット
25. 袋ナット
26. 吐水口
27. オーリング
28. 整流器
29. パッキン
30. フチ止め網
31. 網
32. 整流器本体